

7月末の人口
 世帯数 532世帯
 男 624人
 女 656人
 計 1,280人
 (馬路 978人)
 (魚梁瀬 302人)

広報 うまじ

平成11年8月1日発行
 第一八八号
 編集 馬路村教育委員会
 発行 馬路村教育委員会
 印刷 安芸タイプ

●馬路小・魚梁瀬小交流学習●

安田川で川遊び▼▼▼



▲▲▲インクラインで展望台へ

☆ 二年生のみなさんへ

この前うまじの二年生とあそんだのがたのしかったよ。うまじの川はすごく虫やさかながいっぱいいたね。わたしはうまじの川が大好きになりました。わたしはまたうまじの川でうまじの一二年生とあそびたいです。わたしはこのおもしろいお話をみんなにうまじの一二年生もおもしろいよね。 :かど田しほ

目次

特集	魚梁瀬は今	②③
教育	シリーズ保育園ほか	④⑤
国際交流	にこにこニコラ	⑥
	中国寧夏回族自治区を訪ねて	⑦
健康福祉	保健婦だよりほか	⑧⑨
教養	馬路村の歴史と伝説ほか	⑩⑪
お知らせ	フォトウォッチングほか	⑫⑬
	赤ちゃん万歳	⑭
	村のできごと・村内あちらこちら	⑮

(写真提供：馬路小 尾崎雅洋 教頭先生)

特集

魚梁瀬は今

昨年度、魚梁瀬地区営林署の統廃合問題で大揺れに揺れた魚梁瀬。新聞、テレビなどのメディアにも大きく取り上げられた。そして、喧噪がすぎ去った後、魚梁瀬は再興に向けて静かに動き始めている。

ダム資源再利用と村づくり

魚梁瀬地区再生への取り組み

六月八日、魚梁瀬多目的施設にて、平成十年度(勸)電源地域振興センター専門家派遣事業を受け実施していた「ダム底土育苗用堆肥化技術指導の報告会」が、五人の専門家を招いて行われました。

これは、林野庁魚梁瀬営林署の統廃合により、集落存亡の危機にある魚梁瀬地区再生に向けて、ダムの底土を堆肥化し、土壌とその関連商品を開発することによって、新たな就業の場を作り出すプランです。

実験報告では、有

六月八日、魚梁瀬多目的施設にて、平成十年度(勸)電源地域振興センター専門家派遣事業を受け実施していた「ダム底土育苗用堆肥化技術指導の報告会」が、五人の専門家を招いて行われました。

これは、林野庁魚梁瀬営林署の統廃合により、集落存亡の危機にある魚梁瀬地区再生に向けて、ダムの底土を堆肥化し、土壌とその関連商品を開発することによって、新たな就業の場を作り出すプランです。

実験報告では、有

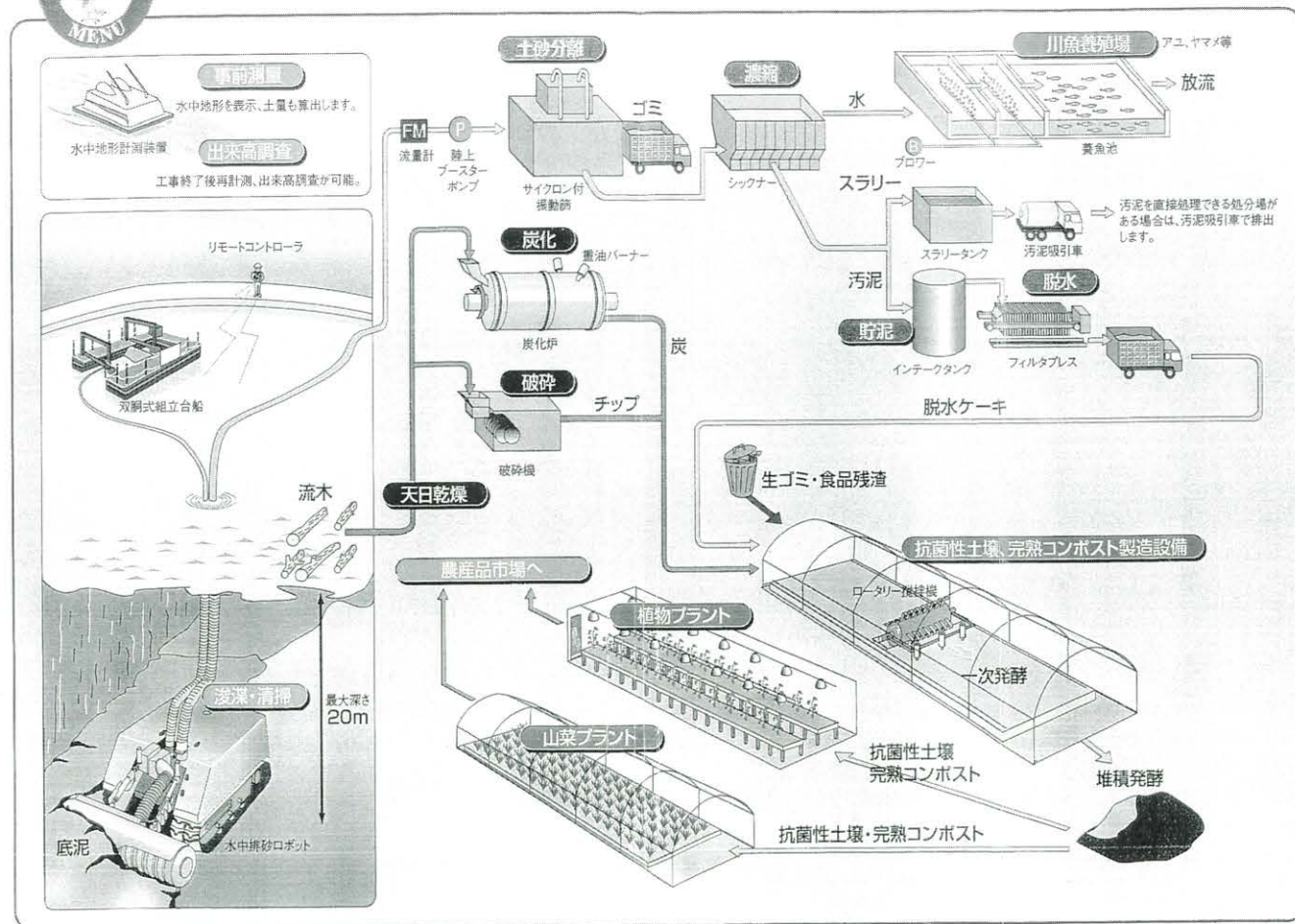
機物に富むが、ドブ臭、通気性が悪いという特徴を持つダムの底土を、新鮮な有機物と混合し、発酵誘導を促進するため十分にすれば、堆肥化は可能とのこと。

また、全国でも有数の園芸地帯である高知県東部の課題を指摘し、その堆肥を使った総合的開発についての提起もなされました。(下図)

ただし、実現のためには、設備投資や従業員の研修など、まだまだ課題があります。



ダム底泥再資源化システム



『ダム資源再利用と村づくり - 馬路村・魚梁瀬地区再生への取り組み -』 P13より抜粋

魚梁瀬の宝をみつけよう!

— 魚梁瀬探険隊・西川の上流のブナ林へ行く —



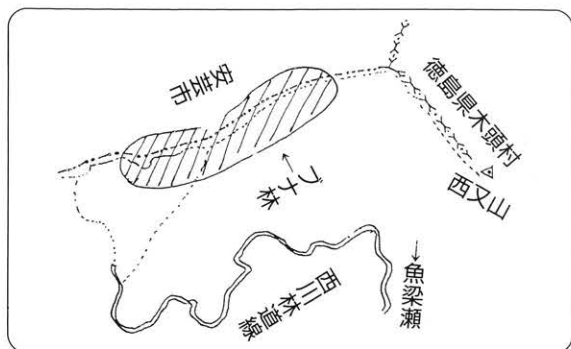
みごとなブナ林

西川の上流の山にみごとなブナ林が残っていると聞き、魚梁瀬探険隊を発足。梅雨の合間をぬって、さっそく行ってきました。

魚梁瀬から千本山の登山口前を通り過ぎ、林道をさらに一時間ほど車を走らせ、終点まで行くと、そこからすぐ目の前の山頂にこんもりとブナ林が見えます。



左から栢山さん 五百蔵さん 清岡教育長



その切り株を隠すように笹などの低木が生え、ブナ林だけが切れずに昔の姿をとどめています。

ブナ林に入っていると、本当にみごとなブナの木があり、探険隊も圧倒されました。

このように、魚梁瀬には村の人も知らない宝がまだまだあります。この機会にもう一度、自分の住んでいる村を見直してはどうでしょうか。

次は、千本山から甚吉森への縦走を計画しています。

地域の願いを子どもたちへ

— 魚梁瀬中地域住民参観日 —



左から小原千里さん、井上洸士郎さん、門田豊重さん

最近、新聞の教育欄で「開かれた学校づくり」や「地域ぐるみの教育」という見出しで、各地域のさまざまな取り組みが見られるようになりました。魚梁瀬中学校では、四年も前から学校の教育内容について、保護者だけでなく、地域住民の方々にも知ってもらうため「地域住民参観日」を実施し、地域と学校の交流を進めてきました。

七月四日に実施された今年度の地域住民参観日では、地元の人を講師に招き、地域学習会を実施するという新しい取り組みがありました。講師になった門田豊重さん、井上洸士郎さん、小原千里さんに

は、生徒から「人口を増やすにはどうしたらいいか」「都会の人が農業をするためにインターンをする人が増えているが、魚梁瀬でも考えられないか」「水力発電以外にダムの利用法はないか」など次々に質問が出され、その一つ一つに真剣に答えていました。

そして、「営林署統廃合問題もあって、なにかと寂しいイメージで語られがちな魚梁瀬だが、その中でも地域の人達が、魚梁瀬の再興に向けて、がんばっている姿を生徒達に感じてほしい」という久保校長先生の言葉に、地域の願いを学校が共有しているという姿勢を感じました。

教育

シリーズ 保育園②
**保母さんたちは
 こんなことが気になっている**

保母さんたちは、毎日のように子どもに接しながら、最近の子どもどのんなどころが気になっているのでしょうか。平成9年度の中芸地区の保母さんたちの研修で実施されたワークショップをもとに考えてみましょう。

「飲み会の出席率は
 いいけれど……」

「子育ての学習会などへの参加は少ない」ということを馬路村の人たちからよく聞きます。けれども、馬路村の親たちが子育てに無関心であるかというそうではないようです。保護者会などの後で一杯飲むときも、子どもたちの事がよく話されていますし、感心させられることも度々あります。

馬路村のように共働きの多い地域では、子育てと仕事との両立が大変です。また、小さな集落なので、仕事の他にも、地域での役割、保護者会での役割、子ども会やスポーツ少年団などの役割と一人にかかってくる責任が大変多い

ように感じます。

だから、馬路村の場合は、今やっていることの中で、きちんと子育ての学習や、親同士の情報交換ができるようにすることが大切です。

今どきの子ども

ここが気になる

さて、平成9年度に中芸地区保母の研修で実施したワークショップをまとめたもののが下の図です。保母さんが一番気になっているのが基本的な生活に関する事です。とくに食生活に関する事です。その他にも「指示待ち型、無気力」など、馬路の地域教育推進協議会でも出されていた最重要課題と同じものがここでも出ていました。保育園は、子どもにとって、

保母さんと保護者との間での子どもの話が一番の子育て学習



家庭の外に出て、はじめて他人と集団生活をはじめるところです。だから、食事の内容や時間ひとつとっても、自分のペースでやれた家庭と違ってとまどいがあると思います。中には、給食でつまづいて保育への登園をしぶる子どももいるかもしれません。そんな時は、保護者と先生が具体的に子育てについて学ぶチャンスとを考えて、じっくりと話し合い、その子どもにとって最善の方法を考えてみてはどうでしょうか。

平成9年度 中芸地区保母さんのワークショップ

今どきの子どもここが気になる

基本的な生活習慣に関する課題です。
 教育における土台、もっとも大切な部分です。

- ◆食生活 ----- 24
 - ・偏食
 - ・固いものが食べれない
- ◆基本的なしつけ ----- 19
 - ・衣服の着脱
 - ・かたづけ
- ◆夜更かし、朝寝坊 ----- 14

現代っ子の特徴的な課題です。馬路村の先生・保護者・地域住民からも同じ意見が出ています。

- ◆体づくりと遊び ----- 11
 - ・テレビ、ゲーム
 - ・歩くと疲れる
- ◆指示まち型、無気力 --- 21
 - ・自分のことも人まかせ
 - ・何か言われないと行動ができない

人と人のかかわりに関する課題です。
 子どもの非行問題も含めて特に最近気になる部分です。

- ◆あいさつ、返事 ----- 9
- ◆わがまま ----- 11
- ◆攻撃的 ----- 11
- ◆集中力忍耐力の不足 --- 11
- ◆親子のコミュニケーションの問題 ----- 10

※数字は保母さんの意見の数を表しています。

お家の人たちへ ごみ回しゅう車について行って

山崎 太郎

(ぼくの思ったこと)

ぼくはちり回しゅう車について行って思ったことがあります。まずもえるごみの中にも入らないごみが入っていたり、食べ物がカンやビンの中に入っていました。おじちゃんたちはそれを見つけては一つ一つふくろから出していきました。たいへんだなあと思いました。これは、一人一人が気をつけたらなおよそくるとおもいます。それと生ごみをふくろに入れなくてそのままごみ箱に入れている人がいました。これはほんとにひどいと思いました。こんなことをやっているとおじちゃんたちは集めにくるのがいやになってくるし、おじちゃんたちにごくめいわくがかかっていると思います。ごみを持って行ってとぼくたちがたのんでいるのだからきちんとたしてほいです。それと、ごみ箱に入っていないかたりしたら気づいた人が入れてあげて下さい。そして、ごみを出す時には、カンがほんとうに入っていないかたしかめてからすてて下さい。このことはできたら守ってほしいと思いました。

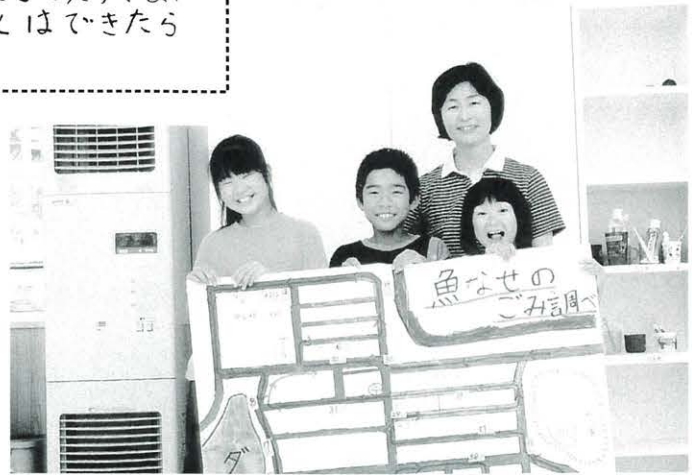
地域から学び

地域をよくする子どもたち

魚梁瀬小3・4年生「ごみ」の学習

魚梁瀬小学校の三・四年生たちは、五月の授業で、地域に落ちているごみを調べました。自分たちで地域を歩き、空き缶やお菓子のふくろなどに落ちていたごみの数を模造紙に描いた地図の上に記録しました。そして、四年生の山崎太郎君は、三年生に手伝ってもらい、ごみを回収している作業員の方にインタビューをし、気のついたことをまとめました。

元気な笑顔の三・四年生



その文章の中には、燃えるゴミにビンが入れられていること、缶やビンを洗って出さないことなど、太郎君の感じたことが書かれていました。後日、「子どもの肌で感じた思いを生かしてやりたい」という担任の久保政子先生の勧めもあり、それは、手紙にして地域に配られ、静かな反響を呼んでいます。地域から学んだことをそのままにせず、地域へ打ち返したところに、この実践のすばらしさがあります。

子どもたちが創り出す

豊かな体験活動

馬路中全校キャンプ

馬路中学校は、七月八・九日、香我美町月見山子ども森にて、全校キャンプを実施しました。

このキャンプは、五月の末より、三年生を中心に、代表委員会、学級での話し合い、係会などを通じてみんなで行ってききました。

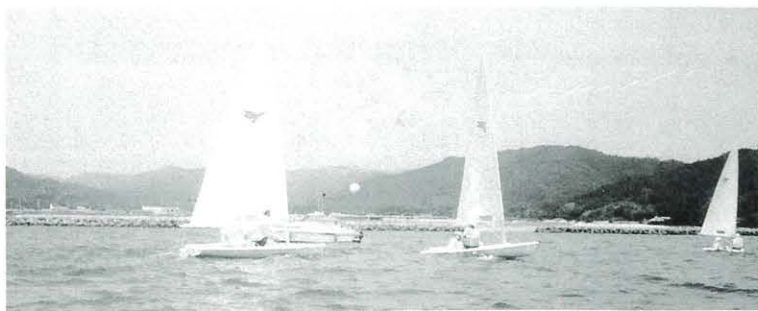
体験のメニューも、夜のレクリエーション、劇、肝試し、調理、ヨットなど全員で活動するもの他に、テニス、サイクリング、月見山でのアスレチックなどグループごとの活動もあり、たいへん内容の濃いものでした。

最近、生活が便利になり、子どもたちの身の回りから生活体験や自然体験がどんどん不足してきています。それは、馬路村の子どもも例外ではありません。昨年実施した『馬路村の教育課題を探そう』において「自然豊かな馬路村だけでも、自然体験の乏しい」子ども像が浮かび上がっています。

また、核家族化や少子化、

野外での遊びの減少によって、人間関係を作る力が急速に衰えていると言われています。そういうことを考えても、

このような野外活動の実施は、馬路村の子どもを育てる上で、大事な方向性を示すものと考えられます。



夜須町沖でのヨット体験



↑NZからすてきな手紙



わたしの名前はカール。
8才です。
私達の学校は
かつこよくて、
日本語も習います。
パイロアは
とても小さな町です。

馬路村の人たちは、ニュージーランド(NZ)人とあまり会ったことがないので、NZ人は、みんなニコラみたいな人間かと思うかも知れませんが、それは危ないことです。

それで、馬路の小学生との交流を作るために、インターネットでNZの小学校をさがして、ミラー・アベニュースクール(MAS)を見つけました。

このMASと写真、ポスター、パンフレット、手紙などで、学校交流がはじまりました。馬路小学校の5・6年生と魚梁瀬小学校の4・5・6年生は絵と地区の説明を送りました。そして今、MASからの手紙が来ました。

MASは、NZの北島の北部のパイロアという町にあります。パイロアは田舎で、主な産業は酪農業です。広くて、1年中暖かい所だそうです。MASではマオリ語と英語と日本語の勉強があり、日本語を教えるインターンのシバタ先生がいます。馬路小の子どもたちは、外でお弁当を食べることと、中で靴をはきっぱなししていることにびっくりしていました。

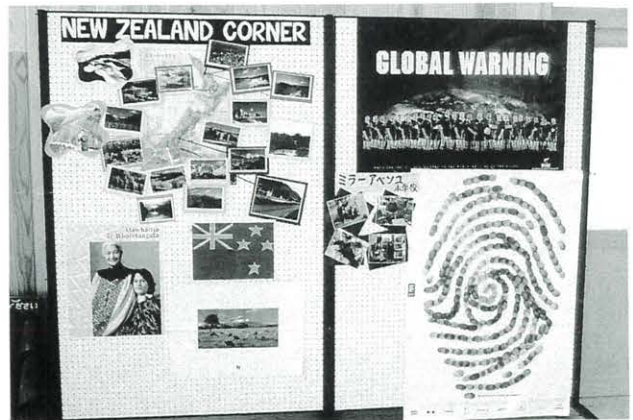
こんな交流を通じてNZのイメージがもっと広がることを希望しています。



↑ミラー・アヴェニュースクールの写真の前で
↑にっこりの
馬路小の子どもたち



TWISTER(ニュージーランドで流行している遊び)



魚梁瀬小のニュージーランドコーナー

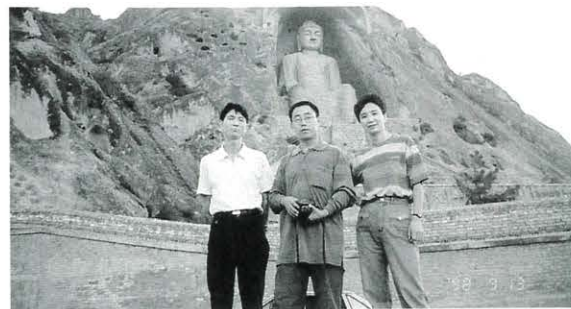
中国寧夏回族自治区を 訪ねて

(五) 仙人に出会った

小松 美和

張玲や張評の夫、李鳳蘭の夫は、私の滞在中、自治区のさまざまな所を案内してくれた。NHKのTV「大地の子」の舞台となった青銅峽市のダムや、かつて日本軍が行進して行ったという六盤山、沙湖や沙坡斗といった観光地等々。その中でも固原地区や、隣の甘肅省への旅は、心を強く打つものがあった。銀川市を離れ銀南地区へ入ると、車外の景色は一変する。そこには貧しい農村の姿がある。四角い赤土だけの家、レンガでかためた家。トウキビとヒマワリ畑が延々と続く。道路には刈り取った麦がひろげられていて、通る車で脱穀するのだ。私の子どもの頃よりもひどい生活が見える。

途中、食堂でトイレを借りる。食堂の隣の部屋で、人の良さそうな若夫婦が、私たちのためにラーメンを作ってくれていた。台所は見えない方がいい。日本の食堂とは程遠いもので汚ないことこの上なし。食堂を抜けると右手に石炭の山。中国ではよく見る光景である。左手に赤土で囲った屋根も戸もないトイレがあった。子どもがしたのか、トイレの手前からあちこちに現物。これも勉強である。借用！更に固原地区へ移動。「ここが一番貧しい土地だ」と張玲が言う。見渡す限り赤土だけの、むき出しの大地。そこに鎌倉の大仏ほどの大きさの仏像が赤土の山にそびえていた。山のいたる所に穴があり仏像がある。それを見るべく登っていると、つかず離れずついて来る五、六人の足音。振りかえると、汚れた衣服をまとい暗い目をした子どもたちがいた。銀川市で出会った希望に満ちた子どもたちの目の輝きはない。観光客のすて



固原の大仏、中央が張評の夫



固原の子どもたち



崆峒山の仙人

るベットボトルを拾い、生活のたしにする。お金がないから学校に行けないのだとも言ったが、張玲は首をかしげた。この子どもたちの表情が今も脳裏に焼きついて離れない。出発から十時間、自治区の果て、涇源のホテル着。シャワーの水が出ない。毛布のにおいが鼻につくが、疲れて、すぐ眠ってしまった。

九月十四日ナツメ(干)入りのお粥とパンの朝食。ここの人たちはお粥に砂糖をたっぷり入れて食べる。何にもないような山道を約一時間車で登る。急に視界が開け、観光用のみやげ物店が並ぶ甘肅省の崆峒山へ。またしてもトイレ借用。使用料一元は高い。五、六枚のザラザラしたちり紙を渡された。通路にはまたしても……。しかし日本のように湿気がないから、ひどいにおいはないが、それでもこたえる。そこから十メートルも離れていない食堂の外のテーブルで、みなと同じラーメンをたのんだものの、牛肉ラーメンだというのが怪しいもので、加えて野菜のにおいが鼻につく。ハエが飛びまわると食べなければ失礼にあたると思っても、どうしてもラーメンがのどを通らない。空腹はすなわち入らないのである。見上げる切り立った山肌には大小の寺。漢詩の世界であ

る。これぞ求め来た中国、感動！登ること七百段、そこで仙人に出会った。点在する寺の僧侶である。「いつしよに写真を撮らせて下さい」と頼むと彼はあわてて立ったり座ったり。向かいの寺の仙人も加わっていつしよにパチリ。ここが一番高い場所の寺だと、中を案内してくれた。何やら走り回っていると思ったら住所と名前を書いた紙を渡された。「写真を送って下さい」と、仙人も人間であった。

保健婦だより

夏バテの予防対策

夏本番。暑さは、まだ八月、九月と続きま
すが、皆さんからだの方は、夏バテ(だるい、
疲れやすい、食欲がない)していませんか。

夏バテ予防その一

冷房によるからだの
冷やし過ぎをさける

家庭や職場で冷房をかけた
りしていませんか。

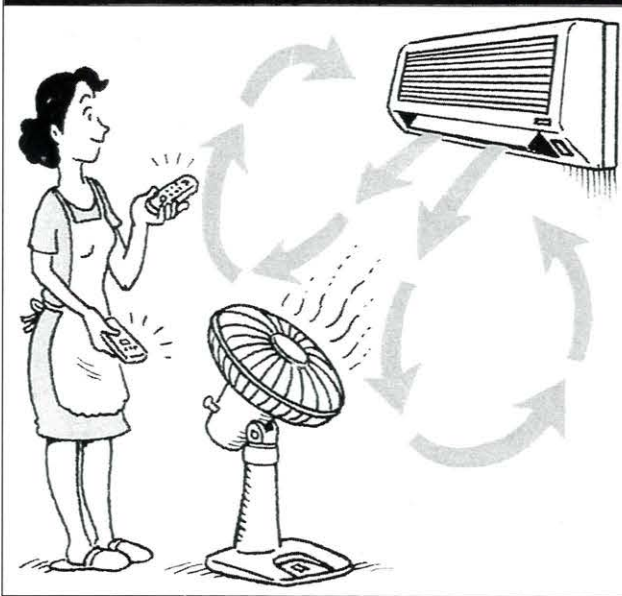
①長時間、冷房の中にいると
きは、冬用のハイソックスを
はいたり、靴下の重ねばきを
したり、ひざ掛け使用や、上
着を準備する。

冷たい空気は、下にたまる
ので足もとが一番冷えます。

②ときどき窓を開ける。
外の気温と冷房のきいた室
内の温度差を少なくするため
と、室内が密閉状態になり空
気が汚れるので、窓を開けて
空気の入れ替えをします。

③扇風機や換気扇を回す。
扇風機を上に向けて回し温
かい空気をかき混ぜて下に降

扇風機を回すと上下の温度差がなくなる



りるようになると、上と下の
温度差が少なくなります。ま
た、ときどき換気扇を回すだ
けでも空気の循環をよくする
のに効果があります。

夏バテ予防その二

食生活上の注意点

バランスのとれた食生活で

夏バテを予防したいものです。

①一日三回、規則正しい時間
に、よくかんで食べることが
大切です。理想は一日三十品
目とすることですが、食欲のな
い時は、できるだけ多種類の
ものを、少しずつでもよいの
で食べることです。

②からだの内側から冷やす食
べ物や飲み物に注意。
アイスクリームや冷えたビー
ル、ジュース、牛乳、お茶、

夏バテ予防その三

入浴、睡眠、
運動について

運動について

①入浴は、全身浴より半身浴。
夏では、三八〜三九度Cほ
どの湯に、みぞおちまでつか
り、汗がでるまで、ゆっくり

水などの冷たいものを季節を
問わず、とり続けたり、一度
に大量にとったりすると、胃
や腸に大変な負担がかかりま
す。冷蔵庫から出して、すぐ
に飲まずに室温に置き、少し
だけ温まったものを飲むよう
にしましょう。

二十分程度入浴します。(心
臓の部分を湯につけると、す
ぐに上半身が温まるので、心
臓の部分は温につけないよう
にします。)

②睡眠時間は七〜八時間が理
想的。

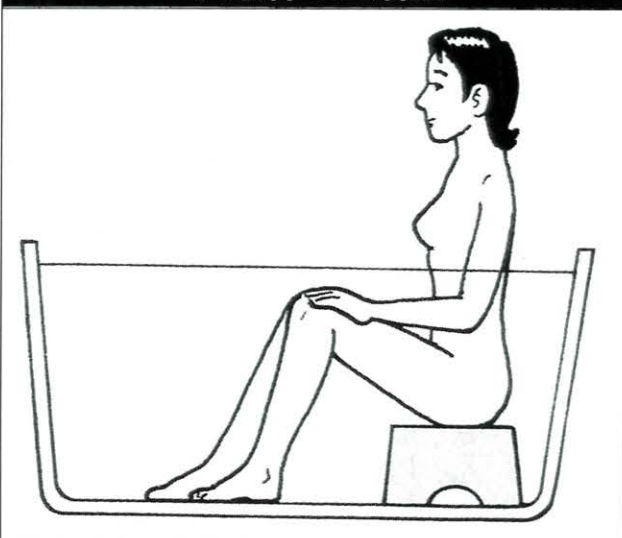
多忙で睡眠不足になりがち
な人は、昼間に仮眠をとるの
もよいでしょう。昼間の十五
分の仮眠は、夜中の二時間の
睡眠に匹敵するぐらいの効果
があるといわれます。

③軽い運動がおすすぬ。

歩いて全身の筋肉をよく動
かすことで血液の流れがよく
なり、歩き終わったころには、
からだがポカポカ温まり、す
がすがしい気分にな
るものです。そ
の上に、手足の先
に血液が行き渡り
やすくなる体操、
足の裏をたいた
り、もんだり、手を
ギュッと握って勢
いよく開く、手首
や足首をクルクル
まわすなど、家で
テレビを見ながら
でもできる体操を
やってみてください。

さあ、この予防
策で今年の夏をの
りきりましょう。

半身浴の入浴法





現在のサービス利用者はどうなる？

現在、デイサービスセンターや老人保健施設を利用している者であっても、介護保険制度がはじまると基本的に新たに介護保険の申請を行って頂く必要があります。その後、訪問調査に基づき要介護認定が行われます。この要介護認定で在宅サービス利用希望ならば要支援以上、施設サービス利用希望ならば、要介護度1～5である必要があります。

しかしながら、要介護認定で日常生活は自立できると見なされた場合には、介護保険制度を利用してのサービス利用はできません。

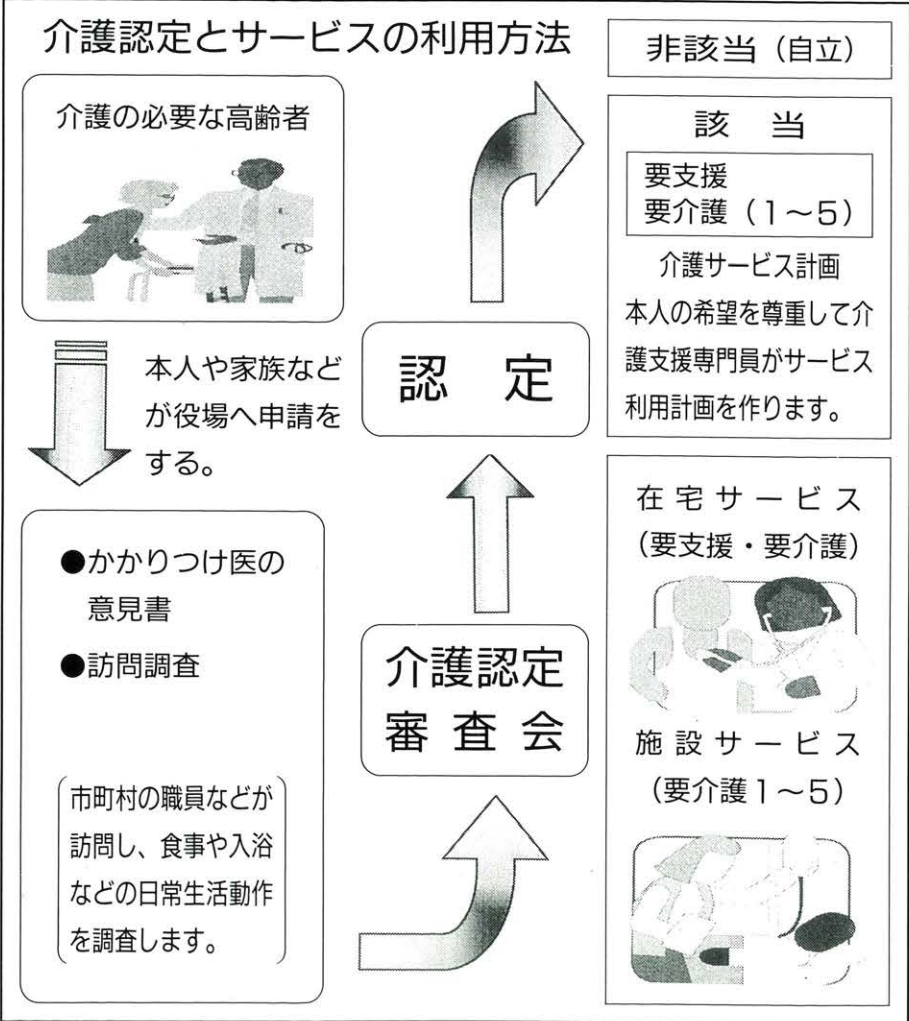
ただし、愛光園や八流荘といった特別養護老人ホームに限っては、現行制度からの経過措置があります。要介護認定において自立と見なされた場合でも、現在入所中の者に限り5年間は退所の強制はありません。

なお、介護保険利用の申請は、本年10月1日から役場にて受付開始致します。

介護保険(7)

テーマ《現在のサービス利用者は？》

平成12年4月からスタートする介護保険制度に向けてシリーズとして、介護保険制度の概要をポイント質問形式で説明しています。



自立やと利用はできんがやとね。

やっぱり申請が必要じゃがやと！

本年10月から申請受付が始まります。



介護保険制度についてのお問い合わせは馬路村役場 健康福祉課まで
※介護保険制度の内容については、今後変更されることもあります。

馬路村の歴史と伝説



(通算第82回)

馬路公民館長 山中 巖

御留山制度と村人の生活

魚梁瀬スギの寿命については、村の森林、林業の歴史をたどってゆく中で、述べるのが適当かと考えましたので、そのようにご了承下さい。
土佐の古文書に馬路村の森林がはじめて記されるのは、大同二年、一一九二年前のことです。弘法大師が馬路の森林を伐ってお寺を建て、葉師如来を刻んだこと、室戸の西寺を馬路の木材を使って建立した事等ですが、これは伝説かも知れないし、これに類す



千本山 (藩政時代から御留山であった)

る事実があったかも知れりません。

その後、秀吉の時代、四一二年前に、長宗我部元親が、秀吉の命を受け、東山方広寺の建立のため、北川村島の成願寺山に入山し、数千人がスギを主体に伐採し、奈半利川を流して、港から筏に組んだ木材を、数百艘にて、大阪へ引き上り、一番早く着いたとして、米二千石を拝領したとの記録も見られます。

この時、元親は良いスギを求めて、魚梁瀬まで行ったことも考えられます。

これ以前に、元親は、文禄五年に「長宗我部掟書」慶長二年に「掟百か条」を作り、「御留山制度」「御留山」を指定しています。これが、山内藩の「山林諸木並に竹定」寛文四年(三三五年前)「山林要定」元禄三年(三〇九年前)へと引きつがれます。これより前に野中兼山は、二五八か所を「新留山」に指定しています。「御留木」は時代によってちがいますが、スギ、檜皮共、かや、楨皮共、楠、桐、楓(けやき)さはら木、桑、漆木、五尺廻以上の椋、檜、いちひ等が定められました。また、魚梁瀬の「御留山」は、亀谷山、中尾山、下明善山、

馬路村歌壇

逝きし友心明るく何も思うことなしと

言いたる言葉残して

旧節句仕来り守りて川原に

飯を炊きて持ちくるる友

キユイの新芽したたかに伸び立つ棚の下

白き花には白き蝶舞う

散りし花話題となりし支那油桐

気になる県道防護壁の上

低山に北に見放くる国有林

日向と影と多き崩壊

カーブ毎に鮎釣る人の車あり

通行時間制限のこの峡の路

石地蔵顔削られし背面に

誰も知るなき七人の氏名

雅子

潔子

久子

安子

源次郎

佳子

いわお



平弥田門

弘末寅太郎 長山兼太郎
弘末米次郎 安岡亀吉
馬地菊一?
西尾常蔵

明善続山、朽谷山、北平山、上大戸山、下大戸山、嶋ヶ谷山、千本山、小屋敷山、八ヶ谷山、和田山、一ノ谷山、二ノ谷山、川原小屋山、雁幕山、八郎兵衛谷山、汗谷山、宝蔵山、高スラ山、赤石山、尾続山、宝蔵続山、赤度山です。

馬路の「御留山」は、峠、峠続、猿押北地、夏尾、爾来山金林寺、金林寺続、朝出、平野、榎谷、山榊ヶ窪、七々川、赤松曾、五葉滝、川平、宿ノ谷、爾来山須垣谷、松立中岡、市ノ谷、爾来山奥安田川口安田川、桑ノ木、栃谷、爾来山明神林、槇ノ谷、壱丁です。

今回は、「御留山」に関連する事柄を書いてみます。馬路の「御留山」はすべてにわたって、現在の安芸市、安田町、田野町、奈半利町などの豪商有力者へ払い下げられ、樹種、金額、実名、年代などがおおよそわかります。一例をあげますと、天明八年(二一一年前)、「市ノ谷」の杉松等を、田野浦の米屋、岡徳三郎に払い下げています。岡家は、岡御殿の所有者であり、藩のご用金を献上し、五人扶持、名字帯刀御免などの特権が与えられ、豪商の筆頭格でした。また、徳三郎は、安永九年

(二一九年前)馬路の金林寺薬師堂の参道両脇にある石灯笼や手洗石を寄進されています。

ところで、天明八年と言えば、当時、大饑饉がおこって飢え死にする者が続出していったのです。

天明八年、葛目守雅は、藩主の命令によって、高知市から東の村々浦々を視察をして、その日誌を残しています。その馬路村の一部を記しますと、「六月七日、晴、馬路七つ(午後四時)着く、庄屋忠衛門宅に宿る。冬以来の飢人おびただしき由、段々死去りて、家の開たる所共多しと見る：あきれたるなり。八日、晴、魚梁瀬あり。形の如く飢人多し……春の事を聞くに飢死したるもの二十七人と驚入たる

事ばかりなり……」と。食べるものがなくて、十人二十人くらいではありません。たくさん村人が死んでいったのです。(精しい事は略す)

また、北川村西谷の名本、新井家の指出控によると「馬路村の地下人共が、西谷の「御留山」へ松を盗みに入りこんで来る。その上に、材木を伐る斧を百挺盗まれた」と記しています。

村人が死に直面した時、足腰のたつ者は、「御留山」の木を盗伐して、その木を売ってお金にかえ、いくばくかの食物を手に入れて、ようやく生きのびたことを、皆さんはどのようにお考えになられるでしょうか。

不幸にも亡くなられた、馬路村の祖先の霊に心から合掌。



金林寺薬師堂の灯籠

- (注)
- (1) 御留山
村人が、山に入ることに、木を伐ることを一切禁じられた山
 - (2) 御留木
御留山の木は勿論、どこに生えていても伐ってはならない木

馬路村俳壇

梅酒作る老の仕事の一つかな
十葉を自家薬籠に取っている
喜美栄

城跡の青葉にひらく句帳かな
新茶くむ老斑の手をかたむけて
安子

落椿もの言う人もなき暮し
何に立つ煙ぞ桜散りやまず
一美

春雷や寺の森伐る大きな音
初蝶の我につき来てすぐ消えぬ
雅子

早乙女の去りてさぎ波残しけり
葉桜や耳に口寄せ老夫婦
千鶴子

山吹の咲きなだれたる谷の雨
疲れたる夏の遍路の通りけり
清子

朧夜や室町の書を堂に秘め
万緑の中の一人は嫁がずに
いわお

集 募
通信講座

生涯学習通信講座で
自己を高める学習を!

通信教育一筋に三十五年の指導経験を有するNHK学園では、放送番組作りのノウハウを活かした学習システムによる多くの生涯学習講座を開設しています。

いま人気の講座は「俳句」「短歌」「絵手紙」「スケッチ」「パソコン」などの講座ですが、教育訓練給付制度を利用した資格講座も注目の的です。

受講の申し込みは随時受け付けているとのこと、この機会に自己を高める講座にチャレンジしてみても如何でしょうか。

また、NHK学園ではその他にも、来年四月に向けて開始となる通信制の高等学校や福祉の通信教育についても募集を行います。詳しい案内書は左記に連絡

すれば入手できます。

(案内書は無料)

〒一八六一八〇〇一

東京都国立市富士見台

二一三六

NHK学園 八E〇一係

Tel〇四二一五七二一三一五一

お知らせ
馬路郵便局

馬路温泉前にポストを新設

皆様には、平素より、郵便局をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、このたび郵便局では「馬路温泉」宿泊のお客様等の郵便物の差し出しの利便性を図るために、平成十一年七月十七日より、温泉玄関前にポストを新設しましたのでご利用ください。

また、郵便局のサービスとして『ゆうちょ暮らしの相談センター』があるのはご存じ

でしょうか。あなたのご相談に専門家が無料でお答えいたします。法律相談、税務相談、貯蓄相談などいつでもご相談ください。くわしいことは、左記まで。

〒七八〇一〇八三四

高知市堺町一・二一

☎〇八八・八七一・三八四四



平成11年度自衛官募集案内

募集種目		資格	受付期間	試験期日
防衛大学校学生	推薦	高卒(見込)	9月6日 ~ 9月10日	9月18~19日
	一般	21歳未満の者	9月14日 ~ 10月13日	1次 11月13~14日 1次 11月 6~ 7日
防衛医科大学校学生		看護学生	高卒(見込) 22歳未満の女子	1次 10月28日
航空学生		高卒(見込) 21歳未満の者	8月2日 ~ 9月10日	1次 9月23日 1次 9月18日
一般曹候補学生		18歳以上 24歳未満の者	8月2日 ~ 9月10日	9月16日
曹候補士		18歳以上	8月2日 ~ 9月15日	9月16日
2等陸・海・空士	男子	27歳未満の者	8月2日 ~ 9月10日	9月27~28日の いずれか1日
	女子			

※ 平成12年3月新規高等学校卒業生予定者の受付・試験期日については、上表にかかわらず文部・労働両省から示された期日以降実施します。

詳しくは、自衛隊高知地方連絡部安芸募集事務所 (TEL 35-2 749) までお問い合わせ下さい。

賞 賛
山村
留學

賞 賛
魚梁瀬山の学校・山の子ども
イメージキャラクター優秀賞二点決定

七月二十一日、第三十二回山村留學推進委員会にて、「山の学校・山の子どもイメージキャラクター」の選考がありました。選考委員には、推進委員の他に、専門家としてハクバ看板の石坂道雄さんに加わっていただきました。作品は、三十七名の方から四十八名の募集があり、選考の結果、下の二点が優秀賞に輝きました。



高知市 西山裕美さんの作品



魚梁瀬中2年 國貞惣一郎くん 中野恵理さんの作品

賞 賛
馬路村
商工会

賞 賛
林義人さん 最優秀賞授賞
第六回高知県商工会青年部主張発表会



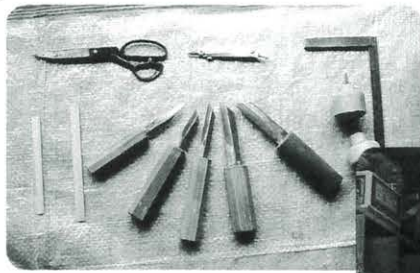
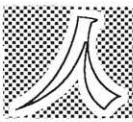
タイガーマスクの時とは、ずいぶんちがうね。

六月二十二日、高知市山内会館にて、第六回高知県商工会青年部主張発表会があり、馬路村商工会青年部の代表で発表した林義人さんが最優秀賞の名譽に輝きました。タイトルは『地域振興とまちづくり』。「都会へ出て行く若者が多い中で、田舎に残ってがんばっている若者もいるんだぞ」というエネルギーな発表内容でした。

なお、林さんは高知県の代表として、今年十月に徳島で実施される中四国大会に出場が決まっています。そして、今年馬路温泉ができて二十年の記念の年。馬路温泉のフロントマンとして働いている林さんの発表でますます弾みがつくことでしょう。

フォトウォッチング

四国 勝さん(相名)

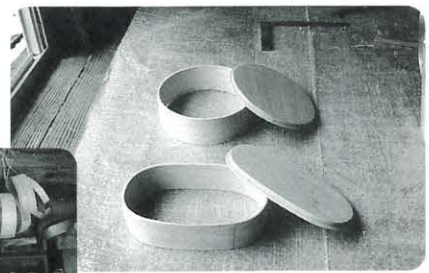


手づくりのナイフと道具

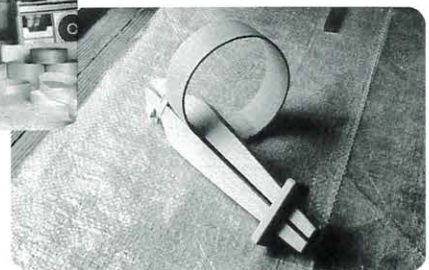
みごとな手さばき



「趣味どころじゃなくなってありがたいやら苦しいやら」と笑顔で答える四国さん(自宅工房にて)



底ぶたがきっちりとはまる この固定器具は、長野で習ってきたもの



村内あちらこちら



6月2日 魚梁瀬中森林教室



6月7日 中芸地区中学校夏季体育大会



6月13日 村内一斉清掃



7月12日 村内中学校水泳交歓会



7月17日 フェスティバル魚梁瀬

村のできごと

《6月》

- 7日 中芸地区中学校夏季体育大会
- 8日 交通安全教室（馬路小）
ダム底土育苗用堆肥化技術指導の報告会
- 11日 村活性化推進協議会
- 13日 村内一斉清掃
- 17日 6月定例議会
- 18日 わーどクッキング IN YANASE ③
- 21日 安芸郡市中学校夏季体育大会
- 29日 あったかふれあいデー（魚梁瀬保育所）

《7月》

- 2日 全国農村交流ネット21馬路大会
- 4日 地域住民参観日（魚梁瀬中学校）
歌って走ってキャラバンバン（魚梁瀬）
- 7日 七夕夕涼み会（魚梁瀬保育所）
- 9日 わーどクッキング IN YANASE ④
- 12日 村内水泳交歓会
- 13日 乳幼児健診
- 17日 フェスティバル魚梁瀬
- 21日 第32回山の学校留学制度推進委員会
- 23日 男の料理教室
- 24日 夕涼み会（馬路保育所）
魚梁瀬子ども会キャンプ
- 25日 スポ少ミニバスケ四国交流大会
- 30日 わーどクッキング IN YANASE ⑤
- 31日 山の学校体験入学事業

（中ノ川・北村廣美さんが
役場に持ってきてくれました。）



おつとめずらしい
リュウキユウに花が咲いちゅう

8月・9月 むらの行事予定

月 日	8 月	月 日	9 月
1 日	自然体験学習 (魚梁瀬小)	1 水	学校始業式
2 月	鮎の放流 (馬路保育所) 11:00～	2 木	校内水泳大会 (馬路小) リハビリ教室 (交流センター) 13:30
3 火	第3回中芸地区野球交流会 (中芸高校) 9:00～	3 金	校内水泳大会 (魚梁瀬小) 離乳食・おやつづくり教室 (魚梁瀬多目的施設) 13:00～
4 水	豆腐づくり教室 (就業改善センター) 19:00～	4 土	} 県中学校秋季卓球選手権大会 (県民体育館)
5 木		5 日	
6 金	健康相談 (相名会館) 13:30～ 安芸中プラスバンド演奏会 (馬路保育所)	6 月	
7 土		7 火	敬老会 (馬路) / 中芸地区小学校水泳記録会 (中山小) 1歳6ヵ月児健康診査 (安田町保健センター) 13:00～13:30受付
8 日		8 水	敬老会 (魚梁瀬) / PTA廃品ビン回収 リハビリ交歓会 (芸西村壱ヶ丘公園内・体育館)
9 月	健康相談 (交流センター) 10:00～	9 木	
10 火	健康相談 (東川会館) 13:30～	10 金	敬老参観日・夏休み作品展 (馬路小) 3歳児健康診査 (奈半利町保健センター) 13:00～13:30受付
11 水		11 土	
12 木	リハビリ教室 (交流センター) 13:30～ 県野球選手権開幕 (～21日まで)	12 日	第9回おらが村・心臓やぶりフルマラソン大会
13 金	健康相談 (朝日出会館) 13:30～ 人権相談 (就業改善センター) 10:00～15:00	13 月	健康相談 (交流センター) 10:00～
14 土		14 火	健康相談 (東川会館) 13:30～
15 日	馬路納涼祭	⑮ 水	敬老の日
16 月	保・小・中合同職員会 (馬路)	16 木	リハビリ教室 (交流センター) 13:30～
17 火	健康相談 (朝日出会館) 13:30～	17 金	健康相談 (相名会館) 13:30～
18 水		18 土	
19 木	リハビリ教室 (交流センター) 13:30～	19 日	第19回馬路おしどりマラソン大会
20 金		20 月	健康相談 (日浦会館) 13:30～
21 土	第43回安芸市体育祭 (バスケットボールの部)	21 火	健康相談 (魚梁瀬多目的施設) 14:00～
22 日		22 水	
23 月		⑳ 木	秋分の日
24 火	健康相談 (魚梁瀬多目的施設) 14:00～	24 金	不用犬収集日 健康相談 (朝日出会館) 13:30～
25 水	健康相談 (日浦会館) 13:30～	25 土	
26 木	リハビリ教室 (交流センター) 13:30～	26 日	大運動会 (馬路・魚梁瀬)
27 金	不用犬収集日	27 月	
28 土	魚梁瀬地区PTA親子研修旅行 (チボリ公園)	28 火	
29 日		29 水	
30 月		30 木	リハビリ教室 (交流センター) 13:30～
31 火			